

R5年度 学校教育自己診断結果報告並びに考察

質問項目の変更

今年度の実施にあたり、別添の下線部の箇所は昨年度より質問項目を変えています。

- ・出来るだけ質問を具体的に焦点化
- ・学校経営計画の具体的取り組みに対応

集計方法について

- ・回答数における比率を算出する方法のみとした。
- ・A:「よくあてはまる」+B:「ややあてはまる」を「肯定的評価」と捉える（従来どおり）
- ・C:「あまりあてはまらない」+D:「まったくあてはまらない」を「否定的評価」と捉える。
- ・「肯定的評価率上位3位」、「肯定的評価率が10ポイント以上上昇」、「学校経営計画に目標指標が設定されている項目」、この3点について着目してみた。

回収率

令和5年度

保護者 69.3% (小学部 68%、中学部 78%、高等部 61%)

教職員 100%

令和4年度

保護者 72.2% (小学部 75%、中学部 70%、高等部 71%)

教職員 100%

教職員の回収率は、今年度も100%を達成した。保護者の回収率は昨年度72.2%から4.6ポイント下がった。特に高等部が10ポイント下がっているため、次年度はより周知を徹底し、わかりやすい標記を心がけるなど、保護者が提出しやすいような工夫を検討し、回収率が上がるようにしたい。

○保護者 124名回答 (回収率 69.3%)

33項目の質問に対して18項目で肯定率80%を超えていた。(昨年度20項目)。

肯定的評価率上位3位

1位【肯定率96.7%】《R4 98.5%》

「学習の内容・学校生活の様子を懇談や学級(学年・部)通信、連絡帳などによって知ることができる」

2位【同94.3%】《R4 91.5%》

「学校は、子どもの心身の健康や障がいの状況等について保護者の悩みや相談に適切に応じてくれる。」

3位【同94.3%】《R4 95.4%》

「運動会や遠足・宿泊学習・修学旅行などの学校行事は、参加しやすいよう工夫されている。」

が肯定率の上位3つの項目となっている。

このことから、保護者の教職員に対する信頼度が高いことが分かり大変嬉しいことである。

肯定的評価率が10ポイント以上上昇

①「学校は子どもに1人1台端末(タブレット型PC)等を効果的に活用している。[65%以上]」

(肯定率63.1%)《R4 50.4%》

②「学校はホームページの学校ブログ等で子どもたちの様子を知る機会を設けている。[70%以上]」

(同75.4%)《R4 60.8%》

①「学校は子どもに1人1台端末(タブレット型PC)等を効果的に活用している。[65%以上]」

では、肯定率63.1%《R4 50.4%》、否定率3.3%で、目標指標の65%には届かなかった。しかしながら、昨年度の反省をいかし、12.7ポイント増加させることができた。今後は目標指標を達成できるよう、より積極的かつ効果的に活用していくことと、情報発信をしていくことに努めていく必要があると考えられる。

②「学校はホームページの学校ブログ等で子どもたちの様子を知る機会を設けている。[70%以上]」

については、肯定率75.4%《R4 60.8%》、否定率3.3%で、目標指標の70%を達成することができた。昨年度に比べ、肯定的意見14.6%ポイント増加し、否定的意見4.4ポイント減少と大幅な改善が見られた。各文書に学校HPのQRコード記載を徹底し、学部毎に月2回のブログ更新や泊行事での細かな状況報告の成果がこの数値につながったと考えられる。

学校経営計画に目標指標が設定されている項目

- 「学校は、子どもの将来の進路や職業などについて、発達段階や実態に応じて適切な指導や助言を行っている。[80%以上]」では、肯定率 74.6%《R4 81.5%》、否定率 5.7%で、目標指標の 80%を達成することができなかった。学部ごとにみると、高等部は 78.8%、中学部は 77.8%と目標指標を超えているが、小学部において 68.2%と低い指標となっている。保護者の進路に対する共感審が高まっている中で、日々の教育活動が、すべて進路につながっていくものだということが上手く伝わっていないと考えられるため、今後はより丁寧にわかりやすく伝えていくことを意識していく必要がある。
- 「学校は子どもに 1 人 1 台端末（タブレット型 PC）等を効果的に活用している。[65%以上]」については『肯定的評価率が 10%以上上昇』で記載している。
- 「学校は、施設・設備の点検、事故防止に配慮している。[70%以上]」では、肯定率 63.9%《R4 68.5%》、否定率 3.3%で、目標指標の 70%を達成することができなかった。昨年度から、肯定的意見は 4.5 ポイント減少し、否定的意見は 1.0 ポイント増加するという課題が残る結果となった。今後は事故防止に向けて、施設・設備の点検、修繕改善を進めていかなければならないと考える。
- 「学校は、子どもが他の学校の子もたちと交流する機会を設けている。[70%以上]」では、肯定率 75.4%《R4 72.3%》、否定率 3.3%で、目標指標の 70%を達成することができた。今年度に入り、新型コロナウイルスによる様々な規制が緩和され、各学部で積極的に交流の場を設けてきたことが結果として表れていると考えられる。
- 「学校はホームページの学校ブログ等で子どもたちの様子を知る機会を設けている。[70%以上]」については『肯定的評価率が 10 ポイント以上上昇』で記載している。

○教職員 96 名回答（回収率 100%）

47 項目の質問に対して 29 項目で肯定率 80%を超えていた。（昨年度 20 項目）。

肯定的評価率上位 3 位

- 1 位【肯定率 95.8%】《R4 90.4%》
「指導要録・健康診断表・保護者案内文書等の收受、発送、保管に対する管理がなされている。」
- 2 位【同 93.7%】《R4 90.4%》
「個人情報保護の観点から、児童・生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。」
- 2 位【同 93.7%】《R4 89.4%》
「児童・生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている。」
が肯定率の上位 3 つの項目となっている。

肯定的評価率が 10 ポイント以上上昇

- ①「職員会議、部会、学年会等の会議が有効に機能し、教育活動や学校運営にいかされている。」
（肯定率 77.9%）《R4 64.4%》
 - ②「学校予算は適切に執行され、各教科に必要な備品や教具が配備されている。」
（同 61.1%）《R4 48.1%》
 - ③「日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。」
[65%以上]
（同 75.8%）《R4 65.4%》
 - ④「施設・整備は必要に応じて適切に整備しよう努力している。」
（同 76.8%）《R4 49.0%》
 - ⑤「施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。[75%以上]」
（同 82.1%）《R4 71.2%》
 - ⑥「児童・生徒の実態をふまえ、指導内容や指導方法、学習形態の工夫・改善を行っている。[85%以上]」
（同 92.6%）《R4 79.8%》
 - ⑦「児童・生徒の将来（ライフステージ）を見通した指導、支援を心掛けている。」
（同 90.5%）《R4 78.8%》
 - ⑧「研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。[65%以上]」
（同 85.3%）《R4 68.3%》
 - ⑨「教職員は、学校が PTA と連携して行っている活動を理解し協力している。」
（同 80.0%）《R4 40.4%》
 - ⑩「近隣の小・中・高等学校との交流の機会を積極的に設け教育活動全般にいかしている。[70%以上]」
（同 85.3%）《R4 63.5%》
-
- ①「職員会議、部会、学年会等の会議が有効に機能し、教育活動や学校運営にいかされている。」
では、昨年度より 13.5 ポイントも改善された。会議が有効に機能し始めていると考えられる。
 - ②「学校予算は適切に執行され、各教科に必要な備品や教具が配備されている。」
では、物品の発注から納入までが早くなり、適切に執行されるようになったことが要因と考えられる。
 - ③「日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。」
では、大幅な改善が見られ、昨年度より教職員間の関係性が良好に保たれるようになったと考えられる。
 - ④「施設・整備は必要に応じて適切に整備しよう努力している。」

では、昨年度より項目内容を若干の変更を行った。その結果、27.8 ポイント増加するという大幅な改善につながったと考えられるが、安全点検表の利用方法が定着し、迅速かつ適切に修繕改善に向けて各署が動き、そのことが全職員に伝わるようになったこともその要因と考えられる。

⑤「施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。[75%以上]」

では、昨年度より肯定的な意見が 11.0 ポイント改善し、否定的な意見も 13.3 ポイント減少した。④でも触れているように、安全点検表の利用方法が定着し、迅速かつ適切に修繕改善に向けて各署が動いていることが要因と考えられる。

⑥「児童・生徒の実態をふまえ、指導内容や指導方法、学習形態の工夫・改善を行っている。[85%以上]」

では、肯定率 92.6%《R4 79.8%》と大幅な改善がみられた。昨年度の反省をいかし、今年度は可能な限りノー会議デーを設定し、教員の業務時間の確保に努めたことが要因と考えられる。

⑦「児童・生徒の将来（ライフステージ）を見通した指導、支援を心掛けている。」

では、今まで行っていた高等部コース制や高等部卒業後の進路についての研修に加え、今年度は中学部卒業後の進路の広がりについての研修も行い、毎年行っているキャリア教育に関する細かな取り組みが浸透してきていると考えられる。

⑧「研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。[65%以上]」

では、管外で学んだ研修など、関心の高い研修内容を、コンパクトにまとめ伝える機会を多く持てたことが要因と考えられる。

⑨「教職員は、学校が PTA と連携して行っている活動を理解し協力している。」

では、昨年度より項目内容を若干の変更を行った。その結果、肯定的な意見は 39.6 ポイント増加し、否定的な意見は 30.0 ポイント減少することにつながったと考えられるが、新型コロナウイルスによる様々な規制がなくなり、PTA 活動も少しずつ再開されるようになったことも大きな要因と考えられる。

⑩「近隣の小・中・高等学校との交流の機会を積極的に設け教育活動全般にいかしている。[70%以上]」

では、肯定的な意見は 21.8 ポイント増加し、否定的な意見は 12.8 ポイント減少し大きく改善された。⑨でも触れたように、交流についても積極的に再開していったことと、コロナ禍で取り組んでいた内容をいかす形で、コロナ禍以前よりも交流内容に幅が広がったことが要因と考えられる。

学校経営計画に目標指標が設定されている項目

- ・「児童・生徒の学びを支援するため、学部間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。[65%以上]」では、肯定率 73.7%《R4 69.2%》、否定率 15.8%《R4 22.12%》で、目標指標の 65%を達成することができた。昨年度から「学部間の連携」に着目し、全校教科会や全児童・生徒による交流会を、高等部生徒会を中心に取り組んできた成果がこの指標に表れたと考えられる。
- ・「教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。[65%以上]」では、肯定率 76.8%《R4 79.8%》、否定率 15.8%《R4 13.5%》で、昨年の指標より下がったものの目標指標の 65%を達成することができた。この結果から概ね教職員間の関係性が良好に保たれていると考えてられる。
- ・「日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。[65%以上]」では、肯定率 75.8%《R4 65.4%》、否定率 16.8%《R4 25.0%》で、目標指標の 65%を達成することができた。『肯定的評価率が 10 ポイント以上上昇』③で記載している。
- ・「教職員間におけるセクハラ、パワハラ等の人権侵害事象が発生しないために啓発等を行っている。[80%以上]」では、肯定率 88.4%、否定率 5.3%で、目標指標の 80%《R4 78.8%》を達成することができた。職員会議だけでなく、日々啓発を行い、それが浸透している結果と考えられ、今後もこの数値を維持していく必要がある。
- ・「施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。[75%以上]」では、肯定率 82.1%《R4 71.2%》、否定率 12.6%《R4 26.0%》で、目標指標の 75%を達成することができた。『肯定的評価率が 10 ポイント以上上昇』⑤で記載している。
- ・「児童・生徒の実態をふまえ、指導内容や指導方法や学習形態の工夫・改善を行っている。[85%以上]」では、肯定率 92.6%《R4 79.8%》、否定率 4.2%《R4 7.7%》で、目標指標の 85%を達成することができた。『肯定的評価率が 10 ポイント以上上昇』⑥で記載している。
- ・「校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。[75%以上]」では、肯定率 76.8%《R4 76.0%》、否定率 16.8%《R4 9.6%》で、目標指標の 75%を達成することができた。深めたテーマを設定し取り組んだ成果と考えられるが、否定的意見が 7.2 ポイント増加していることから、今後はより丁寧に研修内容を設定し進めていく必要があると考えられる。
- ・「研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。[65%以上]」では、肯定率 85.3%《R4 68.3%》、否定率 5.3%《R4 17.3%》で、目標指標の 65%を達成することができた。『肯定的評価率が 10 ポイント以上上昇』⑧で記載している。
- ・「近隣の小・中・高等学校との交流の機会を積極的に設け教育活動全般に生かしている。[70%以上]」では、肯定率 85.3%《R4 63.5%》、否定率 7.4%《R4 20.2%》で、目標指標の 70%を達成することができた。『肯定的評価率が 10 ポイント以上上昇』⑩で記載している。